

発行：鹿児島県志布志市議会
編集：広報等調査特別委員会

〒899-7492
鹿児島県志布志市有明町野井倉1756番地
TEL 099-474-1111 (内線311)
FAX 099-474-0363

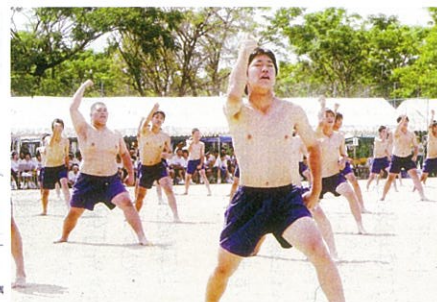


志布志市

市議会だより



<http://www.city.shibushi.lg.jp>



志布志市内の小学校（18校）・中学校（7校）の運動会が平成19年9月23日から10月21日の間に開催された

平成19年9月議会定例会は、9月11日から9月28日までの18日間開かれ、一般会計・国民健康保険特別会計・介護保険特別会計補正予算、条例など10件を可決した。陳情書を3件、請願1件を採択し、割賦販売法の抜本的改正に関する意見書、南アジアの核軍拡競争を防ぐため原子力供給国グループ（NSG）での慎重な議論を求める意見書を国に提出しました。

一般質問は12日、13日、14日の3日間にわたり、10議員が行政執行に対し、農業・港湾・観光・環境・福祉・スポーツ振興・教育問題などについて質問しました。

また、平成18年度の一般会計・特別会計決算の認定について、決算審査特別委員会に附託いたしました。

総務委員会での質疑・答弁	2	一般質問に13議員登壇	5
文教厚生委員会での質疑・答弁	3	全国議会広報研修会	15
産業建設委員会での質疑・答弁	4	議員控室	16
		編集後記	16

総務委員会での質疑・答弁

平成19年度志布志市一般
会計補正予算(第4号)

Q 歳入歳出予算総額に、歳入歳出それぞれ 4億2,729万1千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ 1,87億1,255万1千円と定める。

Q 通山校区公民館が実施する共生、協働型地域コミュニティ創出事業内容は。

A 県の補助事業で、人口減等により自治組織の弱体化、崩壊が進行しつつある中において、県内3地区をモデル地区に指定して、自治組織の担い手となる自主的な地域「ミニミニ」ティ育成に取り組む事業である。

Q 観光がこしま「よかとこ体験プログラムつくり」モデル事業の内容は。

A 志布志商工観光戦略会議事業が、平成19年度観光がこしま「よかとこ体験プログラムつくり」モデル事業の実施団体に採択されたことによる、予算の組み換えである。

Q さんふらわあ利用促進について、鹿児島県・宮崎県の近隣市町に対して、広域的な協力が大事であるが、利用促進状況は。

A あらゆる団体等に、企画ツアー等の助成を含めてPRに努めている。特に今年は県が、県内の各高校の修学旅行に対してさんふらわあを利用した修学旅行を計画されるように文書でお願いがしてある。宮崎県の都城市、串間市、日南市等については、事務局で協力要請をうかがう。

Q 地域総合整備資金貸付金の内容は。

A 有限会社谷口海産がチリメン水産加工工場を建設する資金として、4,000万円貸し付けするものであり、谷口海産は、元金だけ、15年償還、市は利子だけ負担する。利子の75%は交付税措置される。



観光資源を活かせ！

悪質商法を助長するクレジットの被害を防止するため、割賦販売法の抜本的改正を求める意見書を政府等に提出することを求める請願

経済産業省でも改正に関する審議が進められており、慎重審議し本会議において採択した。

南アジアの核軍拡競争を防ぐため原子力供給国グループ(NSG)での慎重な議論を求める陳情

志布志市は、非核・平和宣言市でもあり、慎重審議し本会議において採択した。

どうなった！ 請願・陳情



さんふらわあ利用促進を！

文教厚生委員会での質疑・答弁

志布志市一般会計 補正予算(第4号)

Q グループホーム整備費の補助は誰でも受けることができるのか。

A 市の介護保険計画で有明地区に二箇所整備することになっており、この計画にもとづき、今回公募した。応募のあった法人のうち、運営委員会が決定した法人が、1,500万円を限度に補助申請できることになっている。

Q 夜間急病センター18年度の実績は。

A 1,524人の利用があり、そのうちの55.9%が志布志市の人である。

Q 年金を納めたのに納めたことになっていないというか不具合が本市では出ていないか。

A 鹿屋社会保険事務所に尋ねたが、現段階では把握できないとのことであった。過去に履歴照会があり台帳を調べた結果、収まっていたというのはいずれも一件であった。

Q 環境保全調査等地方公共団体委託事業の地下水、湧水の調査場所は何箇所か。

A 松山で1箇所、志布志と有明が2箇所調査予定である。

Q 特別支援教育支援員は、どの学校に配置されるのか。

A 支援員を小学校に2名、中学校に1名確保して、各学校の必要度にに応じて対応していく。

Q 新給食センターでは残食の出ない給食づくりや、食材の地元業者の育成もしなければならないと思うが。

A 残食がなるべく出ないよう、地元食材をいかながら、栄養バランスを考えて献立を考えていきたい。

Q 新給食センターの職員の雇用についての考え方は。

A 他市のセンターも参考にしながら決めていき



夜間急病センター（曾於医師会病院）

たい。配送についてはシルバー人材センターにお願ひする考えである。

志布志市介護保険 特別会計補正予算(第1号)

Q 介護認定は調査のその時の状況にとつて介護度が違ってくると思うが何か基準があるのか。

A 基本的には調査時点での状況により判断することになるが、日内変動や季節変動がある人については特記事項として記入し、医師の意見書と併せて総合的に判断する。



志布志市国民健康保険 特別会計補正予算(第2号)

Q このまま医療費が伸びると保険税の引き上げもあるのか。

A 来年度から後期高齢者医療制度が始まり、75歳以上の人はそちらに移行するので、国保税の改正が必要になってくる。

下水道管理特別会計 補正予算(第1号)

Q 農業集落排水への接続がふえたのは、公共用水域保全事業の効果か。

A 昨年度は15件だったが、今年度はすでに23件接続しており、この事業の効果が出ていると思う。

産業建設委員会での質疑・答弁

平成19年度一般会計
補正予算(第4号)

Q 標準小作料は、来年度からの改訂が、改訂しなければならぬ要因、今後の流れは。

A 小作料の改訂は、19年度改訂し、20年度から実施する。見直しの要因は最低労働賃金の引き上げによるもの。今後は必要に応じて改訂する。

Q 有明町菅牟田農村公園の老朽化した施設の廃棄後はどうするの。

A 集落の要請で撤去して更地にしてほしいとのことだったので、新たな遊具は考えていない。

Q 県茶業振興大会を成功させるための、進捗状況はどうなっているか。

A 県の茶業振興大会に向けて、運営委員会の開催、大会に必要な発注も終わり、会場設営も予定どおり進んでいる。



平成19年度鹿児島県茶業振興大会 in 志布志

あるのか。

A 政策空き家は、今後年次的に解体整地していくが跡地の利用は住宅マスタープラン及び公営住宅ストック総合活用計画にもつぎ活用したい。

Q 道路改良工事をした場所で、用地交渉がうまくいかず、工事していない場所があるが、今後の交渉の考え方は。

A 今後とも用地交渉には努力していく。



A 昭和55年の建設省通達により区分している。

市道路線の認定について

市道路線の廃止に伴い、新しく市道路線を認定するもの。

Q 1級・2級、その他の路線で交付税は違うのか。

A 交付税の算定基準は路線の延長、面積であるため一緒である。

をする。

Q 家畜排泄物処理法が施行されたが、対象農家の推移はどうか。

A 対象農家の件数は増加傾向にある。また、簡易対応を含めて整備されている。

Q 曾於地域の植樹祭が有明町霧岳であるが、規模はどれくらいか。

A 霧岳に牧場跡地があるが、そのうち4haを整備し、天然林の伐採、低い樹種の植林、道路の舗装

をする。

Q 水路の土砂撤去、のりめの伐採、張りコンをする箇所がたくさんあると思うが、調査して随時していくのか。

A 崩壊のおそれのある箇所から年次的に整備していく。

Q 志布志地区の政策空き家は、今後年次的に解体していくのか。解体整地した跡地の利用計画は

市道路線の廃止について

平成18年1月1日の廃置分合に伴い、合併前の松山町、志布志町及び有明町において認定された路線の名称の整理及び合併前の町境を越える路線の統合を図るため、現在ある市道の路線を廃止する必要がある。

Q 1級・2級の選定基準はあるのか。

どうするボルベリアダグリ



藤後 議員

藤後昇一議員

6月の議会が、ボルベリアダグリの指定管理者の議案を否決したことについて、地元新聞が「税込6,500万円をフイにした議決」等の報道があったが、市長の見解を問う。

新聞報道には

少し誤解がある

市長 これまで国民宿舍の管理を委託している志布志観光開発公社が、新装オープン以来6年間平均で6,500万円の収益を上げてきた。これを借入金償還に充てているのでフイになったわけではない。

18年度の実績と

指定管理者の展望は

問 18年度ダグリの実績の現状分析結果と、納付金6,500万円への対応、並びに指定管理者に

向けての観光開発公社の観光事業への認識と展望を問う。

公社職員全員で

努力したい

市長 前年度より2,100万円の増収、1,100万円の減益と厳しいが、宴会、婚礼収入は増えている。本年度は宿泊者増と経費削減の営業努力を重ね、次回の指定管理者公募に向けて備えた。

「休暇村サービス」の

経営サポートを

問 ダグリの最大の弱点は、国民宿舍事業の柱である宿泊部門が、収入・客数・利用率のすべてにおいて減収に歯止めがかからないことである。この宿泊部門の収益性を強化し、ダグリ経営を活性化するために、全国の休暇村36施設で構成される(財)休暇村協会の子会社で、国民宿舍25施設を運営し素晴しい実績を挙げている、(株)休暇村サービスの



国民宿舍ダグリの今後の管理体制は!

観光推進と

経済振興を図る

具体的政策を実施し、低迷する市民所得を増進することが必須であると考え、市長の見解を問う。

経営サポートを利活用する考えはないか。

あらゆる方法を

今後検討したい

市長 ダグリの経営については、休暇村サービスの専門的サポートが必要かと思うが、現在は3月までの暫定的な延長期間であり、4月以降指定管理者となった場合には、どのような形で指導をお願いするか今後検討したい。

ダグリを拠点とした

まちづくりの具体策は

問 国は観光事業を疲弊している地方経済活性化の柱にしようとして「観光立国推進基本計画」を6月閣議決定した。地方における自前のさまざまな観光資源を、地域力を結集して自力で開発する「内発的発展」を軸とする地域経済自立のまちづくり政策の推進である。本市もダグリを観光拠点に、さんふらわあと連動した

市長 本市も合併後、独自に「商工観光戦略会議」や「さんふらわあ航路利用促進協議会」を立ち上げて新たな観光資源の発掘やスポーツ合宿の誘致等に、市民や地域丸となって取り組んでいる。また、ダグリも本年度から新しい支配人を配置して懸命の営業努力を重ねて、8月現在で前年度より3,200万円の増収を実現している。また、市民の所得を増大することが、まちづくりの重大課題であると日々認識している。

どう乗り切る 近代農業の諸問題



坂元 議員

坂元修一郎議員 バイオ燃料の実用化に向けた取り組みが全国各地で始まっているが、本地域での取り組みは。

総合的に検討している

市長 今年3月にバイオマスタウン構想を策定し、バイオマス総合利活用に向けて推進している。中でも家庭から回収した廃食油をメタノールと反応させたBDF燃料は現在、ごみ回収車に使用している。全国有数の澱粉生産を誇る本地域の特性を活かし、調査研究に取り組む。

飼料高騰の打開策は

問 海外でのバイオ燃料生産の影響で輸入飼料の高騰が続いているが、緩和する施策はとられているか。

制度補てんを行う

市長 急激な配合飼料価格の高騰を緩和するため、基金を造成し値上げが基準を超えた場合、農家に補てんを行う配合飼料価格安定制度を設けている。

海外に

依存しない方法は

問 畜産農家への安定した飼料供給のため、海外に依存しない本市独自の飼料生産供給体制を整えるべきではないか。

地域に粗飼料生産の体制を作る

市長 耕畜連携に極めて重要な役割があると感じており、本市でも大規模な革新的モデルケースが優良事業として進んでいる。飼料コンダクターの

育成で、地域自給飼料生産と給与体制の確立につながるよう努力する。

問 畜産農家の高齢化も進んでいる。安定した粗飼料の提供が急務ではないか。



畜産農家の高齢化が進む

市長 今後の畜産振興については、高齢者の方々を十分に考慮し進めていかなければならないと痛感している。

農薬散布に目印を

問 ポジティブリストの施行で農家も農薬の残留やドリフトについて意識が変わりつつある。営農のマナーとして散布した時には赤、収穫が近づいて飛散の影響を受けないよう注意を促す時は黄色の旗を掲げる、そのような方法は考えられないか。

安心・安全な作物作りに必要

市長 隣接していても挨拶もままならない時代なので、明示して近隣に注意を促すのはすばらしいアイデアである。関係機関と検討を行う。

本格的な畑かん営農が始まるが

問 南部、北部に先駆けて東部畑かんが全面通水

されるが、生産者も認識が浅く、指導体制も整っていないように見受けられる。これまでの普及センターが畑かん営農推進センターに代わったが、これを機に土地改良区、行政、JA職員を同じ事務所で業務を行わせ、連携のとれた指導の下、一日も早い畑かん営農での所得向上に努めるべきではないか。

新たな体制の構築を考える

市長 多額の経費を投入しており、畑かん事業の成果を農家の所得に反映することが急務である。来年から畑かんがい農業推進センターと連携して、畑かん営農を推進する新たな体制を構築する。

BDF燃料 植物油を原料にしたディーゼル燃料

燃料

ドラスト 目的以外への

農薬飛散

飼料コンダクター 飼料

作物の生産を受諾する個人・組織

母子家庭への支援策を！



小野 議員

いるが、さらなる総合的支援のあり方を検討したい。

「こんには赤ちゃん事業」の推進状況は

**就業支援事業に
なぜ取り組まないのか**

小野広嗣議員 児童扶養手当制度の見直しなど、厳しい経済状況の中で、いつそう不利な状況におかれようとしている母子家庭に対して、将来に希望を持てるような支援策を図るべきではないか。

**総合的支援の
あり方を検討したい**

市長 離婚の増加に伴い母子家庭が増加しており、臨時やパートタイムの形態で就労している家庭も多く、収入も少ない状況にある。次世代育成支援対策行動計画、いきいき元気づきプラン、ひとり親家庭対策等の自立支援の推進を取り入れて

問 母子家庭の就業支援として、高等技能訓練促進費や自立支援教育訓練給付金等の事業があるが、県内では離島の2カ所を除けば志布志市だけが取り組んでいない。事業に乗り遅れたために、不利益をうけるのは市民である。行政の怠慢ではないか。

前向きに検討したい

市長 県下の状況を見たときに、本市だけがそういった事業に取り組んでいないということ、ゆゆしき問題であると考えられる。今後、前向きに検討していきたい。

問 生後4カ月までの乳児がいる全ての家庭を訪問し、情報提供や養育環境等の把握を行い、母親に安心を与えながら乳児家庭と地域社会をつなぎ、乳児の健全な育成環境の確保を目指す、「こんにちは赤ちゃん事業」の推進状況はどうか。

**新生児訪問や育児支援
発達相談を行っている**

市長 母子保健推進委員による乳児検診通知の配布時の訪問や、母子保健法に基づく新生児訪問指導による助産師の訪問を行っている。育児支援や発達相談等には、以前より保健士等が取り組んでおり、18年度は16人、延べ22回の訪問を行っている。

**地域包括支援センター
軌道にのっているのか**

問 改正介護保険制度から1年余、市が責任を持つて実施する地域包括支援センターを拠点にした介護予防への取り組みは軌道にのっているのか。

概ね順調な軌道にある

市長 新予防給付として要支援者に対し、要支援・要介護状態の改善や重度化予防を行うため、個人との契約、介護予防サービス計画作成、モニタリング等を行ってきた。

新規の組織の立ち上げであり、とまどい等もあったかと思うが概ね順調に軌道にのせられたものと思う。

**介護事業者に関する
県と市との連携は**

問 介護事業者の認定取り消しや、立ち入り権限も強化されている県と、保険者である市との連携は現在どのように行われているのか。

**実地指導等の
研修を行っている**

市長 事業所の指導については、県の指導監査担当職員を招いて実地指導等の研修を実施し、実地指導等による疑義については、県からの指導を受けている。

**多重債務に対する
市民の救済策を図れ**

問 多重債務に陥り、生活に苦しむ市民を一刻も早く救済するための体制づくりと、学校教育の中の金融教育の必要性についてどのように考えているのか。

**問題解決のための
協力体制を整えたい**

市長 県弁護士会、県司法書士会、鹿児島くすのき会等、専門の窓口と連携を取り、問題解決を図りたい。また、事前の連携として、弁護士会、司法書士会との連携と庁内の連携が必要なので、生活再建のために関係各課と連携を取り、早期発見、早期解決に努め、弁護士・司法書士による債

務整理と平行して、問題解決の協力体制を整えたい。

**金融教育は不可欠
生きる力を育むために**

教育長 教える教師一人一人が、金融教育は生きる力を育むために不可欠であること、その必要性を十分に認識して、金融教育の充実を図るよう各学校へ指導したい。



一般競走入札の導入は慎重に



木藤 議員

木藤茂弘議員 地域性を

考えない、一般競争入札の導入は、大手による弱肉強食のあおりを受け混乱を招く。地域建設業界の崩壊は地域社会経済に大きな影響を招く危険性もあるので、慎重に導入してもらいたい。

来年度の

運用開始を目指す

市長 入札制度改革については、その運用基準や必要事項を十分検討しながら、いくつかの条件を課すなどしたうえで、一般競争入札の導入の、来年度の運用開始を目指し、準備を行っているところである。

イチゴ炭疽病対策は

問 イチゴ農家の経営安定を図るために、健全な苗の確保はできているのか。

有明地区更新用無病苗
全部会員に配布

市長 J Aあおぞらでは部会員93名全員に毎年無病苗更新により炭疽病対策を行っている。J A曾於かごしまは、毎年無病苗の注文を取っており、部会員62名のうち20名程度の更新がなされている状況である。

育苗体制は

問 今後の健全育苗体制の整備のあり方を現状のままが良いと考えているのか。

役割分担で対処

市長 J Aあおぞらは、1月無病苗を購入して育苗センターで10倍に増殖し、5月に部会員全員に20鉢から40鉢を配布して、親株として定着して翌年の苗を増殖している。松山地区は、J A曾於かごしまに注文した部会員に3月に配布して、部会員はそれを増殖し、翌年度の苗として定植する。以上のような無病苗

更新により炭疽病対策を行っている。J Aと行政がそれぞれ役割分担をしながら園芸農家経営の安定を図っていききたいと考えている。

松山地域の健全苗

供給体制の整備を図れ

問 志布志市には農協は2つあるが、J Aあおぞら方式による健全苗供給体制をぜひとも、松山地区にも位置付けすべきではないか。

所得向上に資する

市長 J Aあおぞら、J Aそお鹿兒島、それぞれ育苗の仕方も違うが、それぞれの長所というものをお互いに認め合いながら、今後、本市の園芸農家の所得向上に資していききたいと考えている。

歴史のまちづくり
「基本構想」はあるか

問 財政上、実施可能な基本構想があるのか、進める組織体制は万全か。

市長部局に総括的な
部局を置き

教育長 市長部局に総括的な部局を置いて目標を達成することが最良の方策ではないか。教育委員

会としては、文化財保護の立場から財政的な面も考慮しながら取り組んでいきたい。

全庁的な取り組みで

市長 関係部局との協議が必要な段階にきていますと認識するので、そのことを踏まえて、今後全庁的な取り組みをしていきたい。



どう取り組む歴史のまちづくり

急げ!高規格道路の整備 スポーツ振興にもっと支援を



早急な整備が必要な高規格道路(宇尾付近)



八久保議員

港に直結させる
高規格道路が必要では

八久保議員 高規格道路工事が進んでいる。取りつけ場所、一般道路の交通渋滞・騒音・振動・交通事故等が懸念されるので、港湾機能を発揮させ、

また、輸送コストも削減させるべきである。宮崎自動車道にも引けをとらないためにも港に直結させる高規格道路が必要であり、県に強く要望すべきである。

港湾道路との

調整が必要

市長 東九州道や港湾道路との調整が必要なので国とも協議を進めている。また、全線開通が早急

に図られるよう強く要望している。

スポーツ振興に
もっと支援を

問 今年もサッカーフェスタが開催された。県外も含め多くの参加があったが観客が少なかった。市の活性化や観光戦略を考える時これで良いのか。スポーツを盛り上げるためにも、もっと温かい支援が必要である。

県外も含め74チームが参加し盛況であった

市長 支援として志布志の水を提供した。また、志布志航路利用促進協議会で横断幕を設置し選手を応援した。監督会議にも出席し意見を伺ったところである。

教育長 スポーツは、観客が多いほど盛り上がる。今後とも関係機関と連絡をとり、学校・教育委員会と協力して盛り上げていきたい。

スポーツ特性を活かせ

問 「感動と一体感・地域性夢」という素晴らしいスポーツの持つ特性を活かした振興を図れ。

市長 九州大会や全国大会へ出場する方に対して、激励や補助金を出して選手活躍を期待し応援をしている。

副市長 スポーツは生きる希望と力、喜びを与えてきた。私自身、大変感動している。機会があれば激励をしていきたい。

教育長 教育委員会としても予算措置をしていきたいと思う。

観光拠点の
整備を図れ

問 志布志市のスポーツや観光で欠かせないものが、選手等の宿泊施設である。志布志湾大黒や国民宿舎ホルベリアダグリは志布志湾唯一のリゾートで観光拠点である。ここに廃墟となったホテル

やドライブインがある。持ち主に撤去等の要請をすべきである。

市長 廃屋化した建物については、観光客等に対しても景観を損ねている。今後、周辺の観光整備を図る中で、当該地については検討していきたい。



廃墟となったドライブイン

早期米不作の現状認識と その後の対応策は



丸山 議員

が、それについての対応は。

特別措置は
考えられない

市長 通常作柄で社会的な動向により、米の価格が下った場合、その差額を補てんするのが目的であり、現状では考えられない。

丸山一議員 2年続きの不作の現実とそれに直面している農家の共済組合救済制度についての認識と、その対応策は。

関係機関に陳情した

市長 農業共済制度において、特別措置を講ずるように地元国会議員、農林水産省、財務省、自民党本部に陳情し、本年度の実績については総括する。

品目横断的経営

安定対策の対応は

問 三等以外が対象であ

を品目横断的経営安定対策として補てんする特別措置を大隅開発期成会を中心に農水省に要望した。

県の農作物奨励品種についての認識は

市長 コシヒカリとイクヒカリがあり、稈長が短くて倒れにくく収穫が増え、食味も変わらなくて成熟度が十日ほど遅れるイクヒカリを奨励したらと考えるが。

問 今後検討していく

市長 イクヒカリの特徴を十分検討して奨励していくか、さらに組合せをして作付けをするか今後検討したい。

市長 事後の手続きをすれば、支払いとなるような弾力的運用や規格外米

品目横断的経営安定対策の対応は

問 三等以外が対象であ

通山・一丁田地区の
防災対策を図れ！

問 旧古江線の町境付近では、強い雨が降る度に冠水するが市長の認識は。

関係機関と協議して
整備するよう検討する

市長 合併後の課題として認識しており、既に一部委託設計の準備をしている。道路改良計画の中で道路の嵩上げをして通行に支障のないようにする。

一丁田の町境から
海岸までの防災道路を

問 緊急時の非難道路として整備し、側溝で水を分散する利便性を考えるが、市長の見解は。

周辺土地利用と一体となった道路計画が必要

市長 排水計画など総合的な計画を行う。

通山地区からの
排水路延長を

問 合併後において、整備するという合意があったのだが。

県と協議して整備に向けて努力する

市長 現状の土水路では困難であるので安楽川河

口の護岸整備を含めて用地取得に努力する。

鮫島坂の道路改良を

問 6月、7月でがけ崩れが3回もあり、通行止めになったりしたが、いつになったら整備するのか。

市長 平成20年に過疎地域促進計画で申請し、事業採択に向けて努力する。



安楽川護岸整備を早急に！

人間は〇歳から七歳で 性格・性質が決まる



上野 議員

上野直広議員 市長は、日本一の子育てのまちを宣言されている。しかし、強引に公立保健所のすべてを民間移管されようとしているが、このことに対して保護者は動揺され悲鳴をあげている。民間移管のメリットをどう考えているか。

市長 民営化のメリットは、①多様化する保育需要に対応する保育サービス②保護者、地域のニーズに応じた保育サービス③保育行政を含めた子育て支援の推進・充実である。

る。

完全民営化はむかない

問 介護保険スタート当時、民間活力でサービスの質がよくなるといわれていたが、今年、破綻した介護保険業界のコムスンも福祉サービス業である。その結果、全国に介護浪人が増えた。保育所も厚生省の管轄で福祉サービスにあたる。原則として保育所も市場・競争原理の導入にはむかない。

行政改革

大綱に基づいて

市長 当然、そのようなことを前提に、保育所の民間移管を進めている。合併協議会でも話し合いがなされたことや新市の行政改革大綱にもとづいて

て施政方針に盛り込み、そのことを進めている。



保育所民間移管についての説明!

ある。

市長 質の保持については、公立保育所のほうが優れている。しかし、保育事業は、国の方針も変ってさまざまな事業についても、民間のほうが手厚く財政措置がとられる流れになってきている。

**公立・民間保育所の
ネットワークを**

問 公立保育所は、保育の質を上げるため公立・民間保育所のネットワークを築く中心的な役割があり、保育実践等研究ネットワークをつくる必要があるのではないか。

保育事業はできる

市長 民間保育の方々に機関を設けて、互いに研究等を重ねていると聞いて

ている。保育事業はできると考えている。

三つ子の魂、百まで

問 「三つ子の魂、百まで」、「人間は〇歳から七歳で性格・性質は決まる」といわれている。幼い頃に育った性格や性質は、老人になっても変わらないという意味である。この大事な時期に保護者が動揺するようなやり方で民間移管を進めていいものかどうか。

財政的な面

市長 保育所は、保育される子供と保護者のためであると認識している。合併前の流れと合併後の財政的な面で民間移管を進めている。

非行という形で

問 英才教育・自由放任主義で子供たちは振り回されてきた。これが今の子どもたちの成長に影響し、精神的なバランスを失い非行という形で現れているのではないか。

民間保育で

市長 子供たちの幼年期から青少年期へ及ぼす影響というものは大きいものがある。家庭や地域でなしえない教育、保育というものが、民間保育所でなされると考えている。

もつと慎重に

問 民営移管は一度実行されると、もう一度公立保育所に戻すことはありえない。保育の質の向上、あり方を考えてからも遅くない。もつと慎重に保護者、保育者、市民等で議論して決めるべきではないか。

何回も話を

市長 この問題については、保護者との話し合いの中で、保護者が本当に不安を抱きかかえておられると実感している。不安を払拭するため、何回でも話をすることを基本姿勢として取り組んでいる。

公立保育所の民間移管は 住民の合意を得てすすめよ



小園 議員

小園義行議員

市は公立保育所の民間移管を進める立場で取り組んでいるが、自治体の公的責任として地方自治法や児童福祉法にもとづいて十分な対応をしていく必要がある。本市の子供の保育に對しての公的責任は、どうあるべきと思うか。

公立では厳しい

市長 公立私立を問わず実施しなければならぬ。近年、働く保護者の増加により保育に欠ける乳幼児の数は増加傾向にある。そうした中で保育ニーズが多様化してきており、それに応えていくためにも今の志布志市の公立では非常に厳しいと言わざるを得ない。こうした状況の中で民間移管をお願いする。

住民からの陳情に どう対応するか

問 公立有明保育所を存続させる会から2件の陳情が提出されている。陳情の内容は保育に関して、内容の問題を問われている。どのように受け止めているか。

理解を得ながら進める

市長 反対される方は、子供達の環境が変わること、今の公立の運営の仕方がいいと言われる方々であると認識している。そういった方々にも民間の運営をご理解いただいて総括的な形で進めていく。

保護者の声を 十分に聞け

問 民間移管の進め方に対しては保護者との合意が得られないと難しいと思う。もっと住民に寄り添う形でやるべきである。今後の対応をどう考えるか。



有明保育所

強引にすすめない

市長 保護者の方々からも、かなりの形でそういった意見が届いている。

その事について私どもは真摯に、そして真面目に取り組み、決して強引に進めるような印象を受けない形で進めていく。

アンケートの 結果はどうか

問 有明保育所でアンケートをとられているが、

一番直近の結果はどうか。

市長 市が個別にとった結果は約6割

市が個別にとった結果は6名の方が絶対反対という結果を得た。その後保護者会のアンケートでは、民営化に賛成21名、民営化に反対34名、未回答3名、計58名の結果がでている。

福祉タクシーの運行 見直しはどうか

問 志布志町地域の福祉タクシーについては有明町地域や松山町地域と同じように電話をもらい、そこに迎えに行くというサービスを行うようにお願いしてきたが、どのように見直し検討したのか。

交通政策の 中で検討する

福祉部長 路線方式については、当初から予約の状況や時間の許す限り、個別のはいり込みにも融通を利かせて弾力的な運行を図っている。松山、有明地域と同様のサービス提供ができていないと考えている。

市長 今後の利用者数、登録者数の推移を見守り、市民の要望を聞き、関係事業所とも協議しながら事業実施については市全体の交通政策の中で検討してまいりたい。

急げ救急医療体制の整備



鶴迫 議員

鶴迫京子議員 救急車の現場到着時間は田之浦、松山で約20分、市街地で5分と地域で差がある。

これは命の格差にもつながる。来年3月末には消防の輝北分署も鹿屋へ移管する。尾野見、田之浦、四浦、八野地区の大隅南部消防署の救急業務を分署化して、尾野見大地のあたりに分署を設置することを国や県、消防議会等に強く働きかける考えはないか。

要請をしていく

市長 国や県で平成24年に向け、消防体制の広域化の問題への取り組みがなされてきている。分署の配置等、地域のごも討議の対象に加えてもらうよう要請していきたい。



輝北分署を尾野見地区へ

大丈夫か

本市の医療体制は

問 医療の確保は図られているか。診療科や医師は不足していないか。

医師の確保は非常に厳しい

市長 鹿屋市、都城市、曾於地区の休日当番医に輪番医、救急医療センター、夜間急病センター等の制度を利用。一部の診療科で医師不足がある。

福祉部長 曾於郡医師会立病院は6年間、脳外科医がいな。このことは医

療協議会でも話し合いがされ、県や鹿大に医師の派遣を要請しているが、なかなか確保できない。

AEDを

市職員は使えるのか

問 自動体外式除細動器(AED)が本庁、松山支所、志布志支所に、携帯型を含み、計4台配置されたが、いざという時に使える人がいなければ命は救えない。①市職員へのAED操作方法を学ぶ普通救命講習会は開かれたか。②講習終了証の保持者は何人で、どれくらいの割合か。③全職員の習得を目指す計画が立てられているか。

15%の低い受講率

市長 ①6月29日に開いた。②昨年11人、今年48人で合計59人。本庁35人、松山支所8人、志布志支所16人。受講率は15%である。③計画は立てていないが年次的に実施していく。

どうなったか?

学校にもAEDを

問 今年6月議会での「AEDをすべての小、中学校25校へ配置できないか」との質問に、「考えてみる」と答弁しているがその後の取り組みは。

来年度の当初予算で

教育長 すべての小、中学校25校にAEDを設置する方向で、来年度当初に予算措置を考えている。

青年団への支援策は

問 独身男女に出会いの場を提供する、12月23日のイベント「クルーシングパーティー」N志布志」を実行する、青年団活動に対する市の支援策は。

さんからわあを利用 出合いをサポート

市長 さんからわあ志布志航路利用促進協議会補助金450万円の補正予

算のうち、さんからわあ借上料90万円、船内イベント費60万円、広告費70万円の合計220万円。参加費負担分20万円を見込み、差し引き200万円である。庁内にサポート委員会を立ち上げ黒子として支援していくが、あくまでも主体は青年団である。

防げ、若者の市外流出を

問 若者の市外への流出を防ぐための取り組みは。

総合的に努力していく

市長 ①学校と連携した職場体験②職業相談室の拡充③新規就農後継者支援④農業・農村家業再生支援事業による農業後継者育成の推進⑤定住化対策⑥立地企業懇話会実施等、あらゆる機会を通じて、雇用の場の確保にも努力していく。

過疎地域に活性化住宅の設置を



下平 議員

下平晴行議員 過疎地域は少子高齢化で、学校運営はもちろん、校区公民館、集落の運営も大変厳しい状況である。定住化を促進するために、地域活性化住宅の設置はできないか。

**学校のあり方など
検討する**

市長 地域活性化住宅の趣旨として、学校児童数のバランスを図るため、児童数の減の著しい校区内に民間活力を導入しながら住宅の建設を促進し、地域活性化住宅の推進も含め、地域の学校のあり方など多面的な見地から検討する。

**公営住宅の3割程度
設置できないか**

問 公営住宅のほとんどが市街地に設置されているが、志布志市住宅マスタープラン、公営住宅ストック総合計画では、「地域活性化に資する魅力は、魅力的な住まい」とあるが、3割程度過疎地に設置する考えはないか。

市長 松山地域、有明地域では活性化住宅を建設してそれなりの効果が出ている。志布志地域については市街地と農村部の区分がはっきりしているので活性化住宅を建設したときに効果があるか検討する。

**ここ1、2年のうちに
設置できないか**

問 隣接市町でも少子高齢化対策として、いろいろな取り組みで定住化促進を図っている。早急に取り組まないと大変な状況になるが、学校周辺に活性化住宅を、ここ1、2年のうちに設置はできないか。

**来年度予算に反映する
市長** 財政の許す範囲で来年度予算に反映する。



伊崎田活性化住宅

サンポートじぶし
アピアの商業政策

**市長が経営に
取り組むべきだ**

問 サンポート志布志アピアは平成8年に都市開発と商業活性化を目的に計画され、まちづくり公社を設立してオープンした。しかし、大型店舗等の立地により大変厳しい経営状況にあり、県に条件変更承認申請して何とか経営を乗り切っている。株を50%以上持っている志布志市が代表権のある取締役社長になって経営に取り組むべきではないか。

**その道のプロが代表に
なることがふさわしい**

市長 国が示している第三セクターに関する指針の中で、役員員の選任については「職務権限や責任、ふさわしい人材を民間も超えて広く求めることが適当であり、民間の経営ノウハウを有する人材が積極的に登用されるよう努めること」とされており、その道のプロが代表になることがふさわしいと考える。

二階コミュニティ
施設の活用は

問 この施設の公共部分は二分の一ということで設定しており、このようなことから二階のコミュニティ施設が全体の13・1%を占めており、償還について大変な重荷になっているが、利活用についてどう考えるか。

**利用促進に
真剣に取り組む**

市長 現在までいろんな事業の取り組みや企業の誘致してきたが実現に至らなかった。これからの会社の動向を見て、国・県のご指導をいただき、施設の利用促進をアピア側と一緒にやって、真剣に取り組んでいきたい。

全国議会広報研修会に学ぶ

志布志市の議会だよりは、広報等調査特別委員会が編集していますが、さらに良い議会だよりを発行するために、平成19年8月29日～30日に東京都でおこなわれた研修会に参加しました。「見やすい、読みやすい、わかりやすい」議会だよりを目指しますので、ご愛読を！

わかりやすい 文章表現・表記について

心構え

- ① どんな人が読むのか想像力を働かせる。
- ② 推敲の手間の時間を十分かける。
- ③ 表記ハンドブックを手元に。
- ④ 飽きさせない工夫として、大事な点を先に持つてくる。
- ⑤ ふりがなは汚いので言葉に置き換えできないか、類似語辞典を活用する。
- ⑥ 人の文章でも、自分の文章でも直す力、モニタリング力をつける。

心構えを実績の 文章に反映させる

- ① 詳しい説明がわかりやすいとは限らない
- ② 対象については、何について説明するのかよく把握し、常に自分の頭の中に入れておく。



第66回 町村議会広報研修会

全国議会広報研修に参加して

- ③ 「議会審議」を伝えることは「翻訳」ということ。
- ④ 段落ごとにできるだけひとつのことを言い切るようにする。

- ⑤ 大見出し・小見出しは、どういう役割をさせるか、要約なのか等を考える。
- ⑥ 表・グラフ・写真・イラストを使用する場合は、関係性を示すため、必ずキヤプションを入れる。
- ⑦ 短文がよい
- ⑧ 差別用語には十分注意する。
- ⑨ 思い切つて削る勇氣を持つ。

実例から

- ① 縦書きの1行当たりの文字は少ないと、一目で意味が把握しにくい。
- ② 主観的な言葉はさける。意味でなく真実を伝える。
- ③ 中黒点「・」の打ち方には注意する。類似表現の繰り返しはさける。
- ④ 列挙の中に列挙がある文章は使わない。
- ⑤ 答弁が具体策を述べていない場合は、空疎であり、読んで損をしたような気分になる。
- ⑥ 内容のみが伝わって、文章の表現は忘れるぐらいがよい。

写真の魅力と 美しい自然風景の 撮り方

心構え

- ① 一眼レフの魅力、シャッター時間を工夫することによる写真の変化を楽しむ。
- ② フィルターの使用方や、マクロ撮影の魅力を楽しむ。
- ③ 地元の美しい自然を写真にし、PRすることの大切さを

楽しむ。

議会広報 クリニックから

- ① 人は表紙を見たら、次に裏面を見る習性があることを配慮した紙面づくりを心がける。
- ② 写真が多いほうがよい。そのうち動きのある写真は半分ぐらいほしい。
- ③ 写真は前向きの人物の入ったものを使用する。
- ④ スポーツ新聞等を参考にしながら、文字の大きさの使い方を学べ。
- ⑤ 「ケーブルテレビ網、いよいよ工事スタート」の見出しのうち、「網」と「いよいよ」はいらぬ。
- ⑥ 4段落でなく、6段落にする。

鉄砲祭りに 参加して

平成19年8月19日の、種子島の鉄砲祭りに議長・各委員長が参加しました。西之表市、議会、商工会の方々との意見交換会が行われ、種子島・志布志航路の開設について、意見が出されました。今後とも、協議を継続していくことを確認いたしました。



志布志の山里を巡ってみた。四浦までは山あいをカーブの連続で、越路峠を越えるとうまくゆるくの三叉路にたどり着いた。左へ入ると湯の山温泉。日曜日のみの営業ということだが、遠来の湯治客も多い。

四浦小学校からさらに奥深いところに、県本土最東端といわれる後谷集落がある。廃屋が多く、ここも限界集落が。

懐集落の道のはりは狭く、深い杉木立の中をゆく。地理的に見てもあの大がかりな選挙違反事件がえん罪であることは容易に想像がつく。地に落としめられた地域住民の方々の名譽の回復はもとより、地域の絆を強め集落に再び活気が蘇ることを願って止まない。

四浦川沿いに降りて下流へ進むと、清流で名高いせせらぎの里。憩いの場だが高齢者や障害者用のトイレがないのが残念だ。そこから、甘しよの貯蔵庫が道路沿いに

連なる岩郡集落を抜け、急坂の林道を越えると馬庭地区。昨年の集中豪雨で大きな被害を受けた水田はきれいに復旧されている。帰りがけに立ち寄った中川内集落では住民と会話することができた。「林野事業が盛んな時代は、ここからさらに奥地にも多くの人家があったものだ。志布志の街に住んでいる息子が一緒に住もうといってくれるもの、私はこの地を離れたくないんだよ」と笑いながら話をされる。自宅前の農地には昨年杉を植え、今日は下草刈り作業中とのこと。この地に往年の村の賑わいは再び来ることはないかもしれないが、住人にとっては先祖伝来の愛着の沁みだ離れがたい土地なのだ。



上村 環

議員控室 「山里巡り」

今、山村を守るのはほとんどが高齢者。老後の生活や病気になるたときの不安もあるだろう。山里に暮らす人にとって、のどかな自然の中で安心して生活できる基盤づくりが急務だ。

やさしい議会用語

★ 議案 ぎあん

議会の議決を経るため、長または議員が、議長に提出する案件のこと。

★ 意見書 いけんしょ

地方公共団体の公益に関する事件に関し、議会が地方公共団体の機関としての議会の意思を意見としてまとめた文書。

わかりにくい漢字

★ 稈長 かんちよう

10 P
麦や米等の茎の長さ

★ 嵩上げ かさあ

11 P
堤防などを、今までよりも高くすること

★ 真摯 しんし

11 P
まじめでひたむきな態度

★ 払拭 ふつしよく

11 P
ぬぐい払うこと
きれいに払いのけること

★ 推敲 すいこう

15 P
文章を練る



編集後記



異常な猛暑もやっとどこかへ去ってくれたようです。近所のおじいさんも「こげん暑いは、はいめっじや」と言っていました。そしてグラウンドゴルフで汗を流していました。この元気があれば、日本の医療費が上がるはずはないと思います。やっぱり、外に出て多くの人と接し、笑い、運動するのが健康の秘訣と感じました。

先般も、地域のグラウンドゴルフ大会に、退職して都会から帰ってきたご夫婦が参加していました。奥さんもゲームには参加しないが付きっりで「今朝は栄養ドリンク2本も飲んだのだから、頑張つてよ」と応援していました。すごく微笑ましい「コマを見せてもらいました。後日その人に偶然会ったとき「こんなにおもしろい遊びは、初めてだった。早速ステイックを買いました」とのこと。そして、今はそれなりの歳はとっているが自治会の体育部長です！みなさん、迷わず飛び込んではいかがですか。友達がたくさん待っているよ！

広報等調査特別委員

西江園 明

志布志市議会議長

谷口 松生

広報等調査特別委員

小野 弘嗣・鶴迫京子

坂元修一郎・迫田正弘

立平 利男・立山静幸

長岡 耕二・岩根賢二